

Refresh Pro の使い方

■「ヘルスチェック」と「リフレッシュ」二つの機能

Refresh Pro には二つの機能があります。

- ①「カードヘルスをチェックする」は、カードの寿命を%で測定します。
- ②「カードをリフレッシュする」は、カードのメモリーを完全に消去し、メモリーを初期出荷状態に戻します。

ご注意：一度リフレッシュしてしまうと、データのバックアップはできませんのでご注意ください。

：メモリーを初期状態にリフレッシュしますが、メモリーの寿命を元に戻すことはできません。

■ Refresh Pro 対応メモリーカードと、プログレードデジタル・カードリーダーが必要

Refresh Pro を利用するには、Refresh Pro 対応プログレードデジタル・メモリーカード（以下「カード」）と、プログレードデジタル・カードリーダー（以下「リーダー」）が必要です。

■ Refresh Pro 対応メモリーカード

赤丸で囲った「R」のロゴが付いているプログレードデジタル・メモリーカードが対応しています。



■ Refresh Pro 対応カードリーダー

全てのプログレードデジタル USB3.1 Gen2 対応ダブルスロットカードリーダーが対応しています。



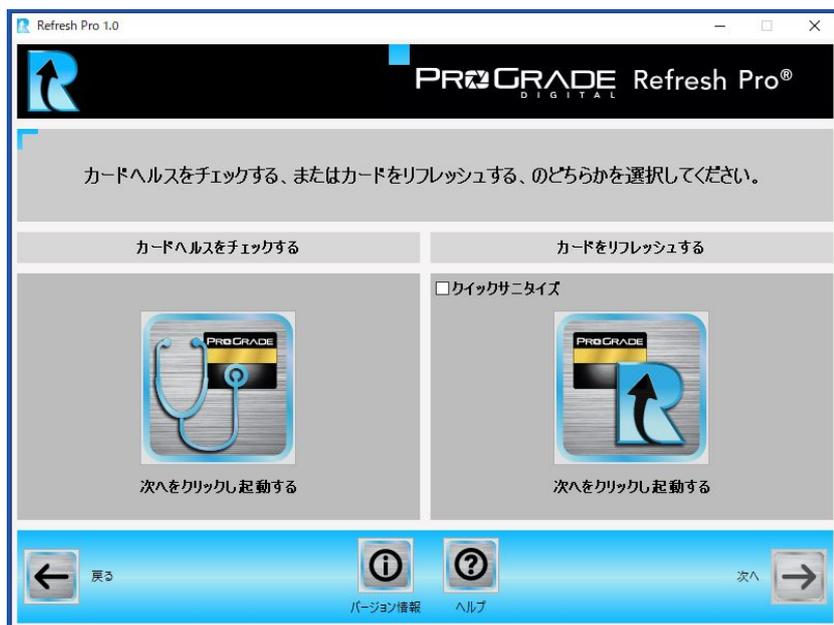
■ Refresh Pro を立ち上げる

カードをリーダーに挿入し、パソコンに接続してください。その上で Refresh Pro を立ち上げると初期画面が表示され、少しするとカードを認識します。カードが認識されない場合は、カードが Refresh Pro 対応か確認してください。下の画面は、CFast カードと SD カードを 2 枚挿入している例です。



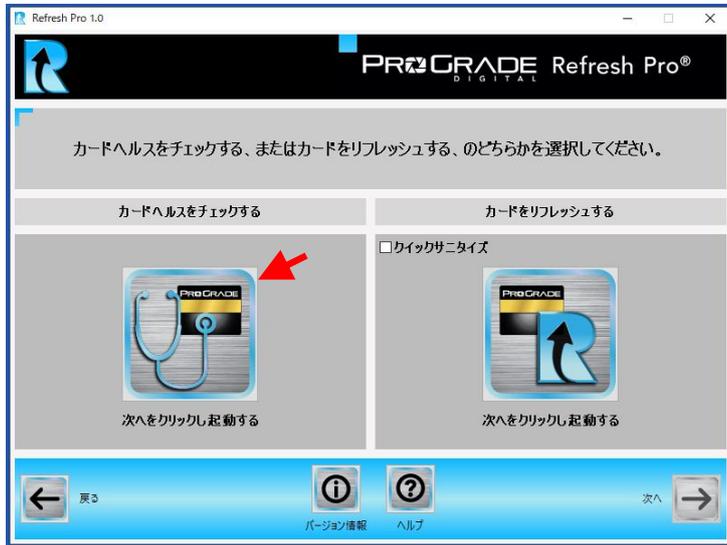
■ メモリーカードを選択

「カードヘルス（健康状態）をチェックしたい」もしくは「カードをリフレッシュしたい」カードのチェックボックスを選択し、「次へ」をクリックします。上画面の場合、「Q:ProGrade SD」を選択しました。下の画面が表示されます。



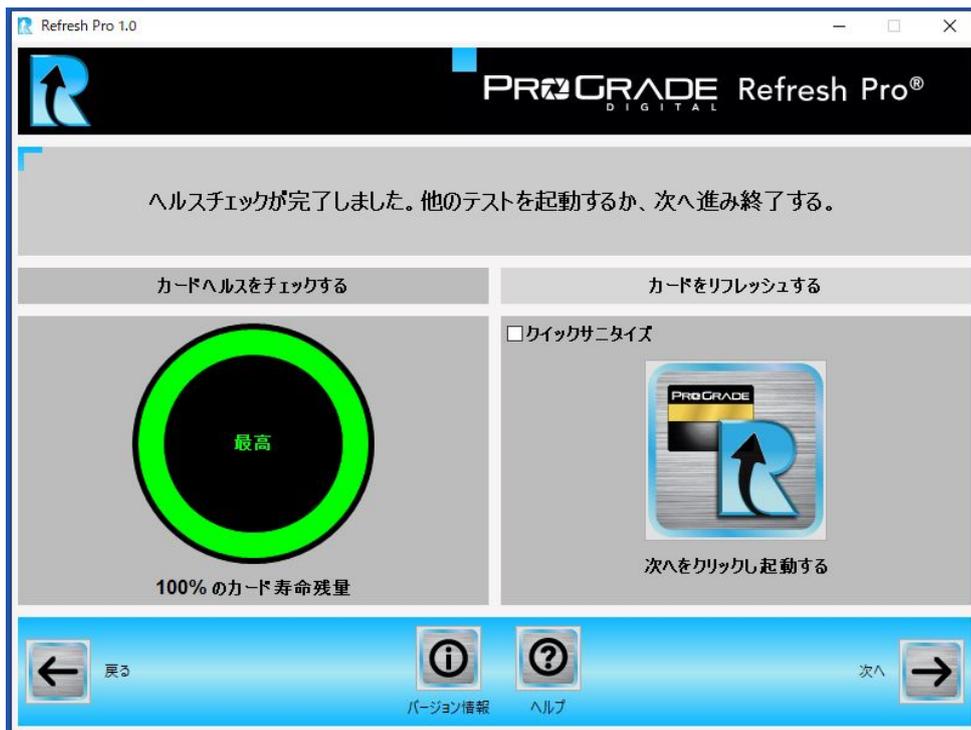
■カードヘルスをチェックする

カードヘルスをチェックする場合には、アイコンをクリック（赤矢印）します。するとアイコンの周囲が濃くなります。「次へ」（緑矢印）をクリックします。



■カードヘルスの確認

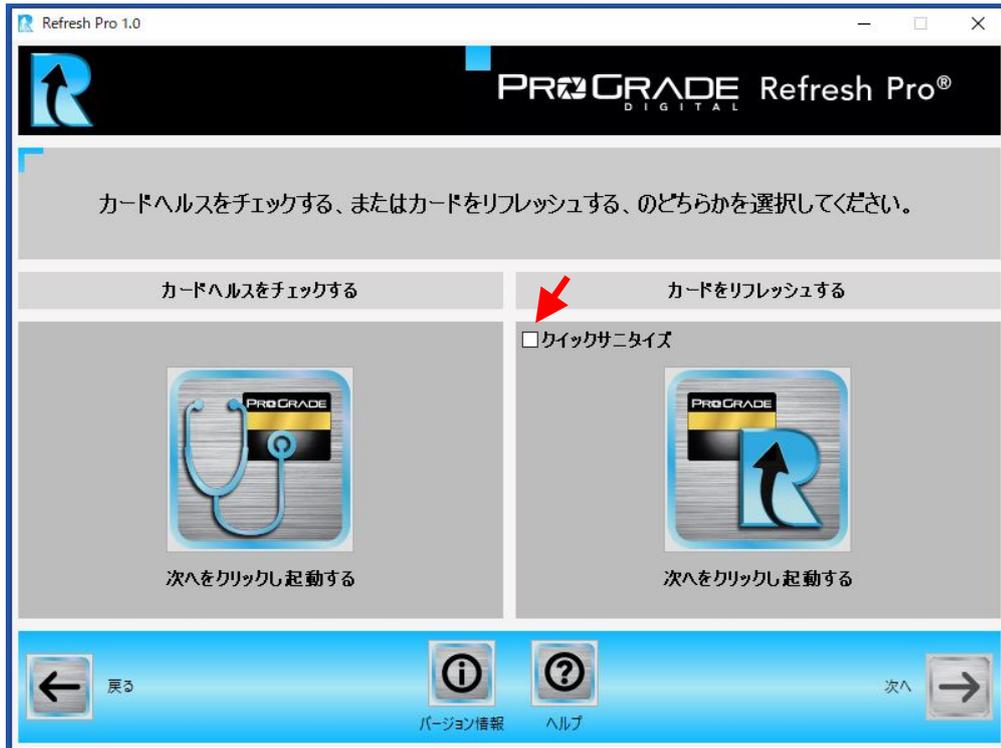
今回は 100% です。とても健康なので「グリーン」ですが、使用頻度に応じて、「イエロー」「レッド」の三段階で表示されます。「レッド」表示が出た場合には、カード交換の検討をお勧めします。



■カードをリフレッシュする

カードをリフレッシュする場合には、「カードをリフレッシュする」のアイコンをクリックします。

通常のリフレッシュは、カードの状態を事前に分析し、工場出荷時の設定に合わせてリフレッシュし、その後カードを再度分析してその有効性を測定します。そのため測定時間がかかります。このプロセスをスキップし、いち早くリフレッシュしたい場合には、「クイックサニタイズ」のチェックボックスを入れて下さい。リフレッシュの度合いは同じです。



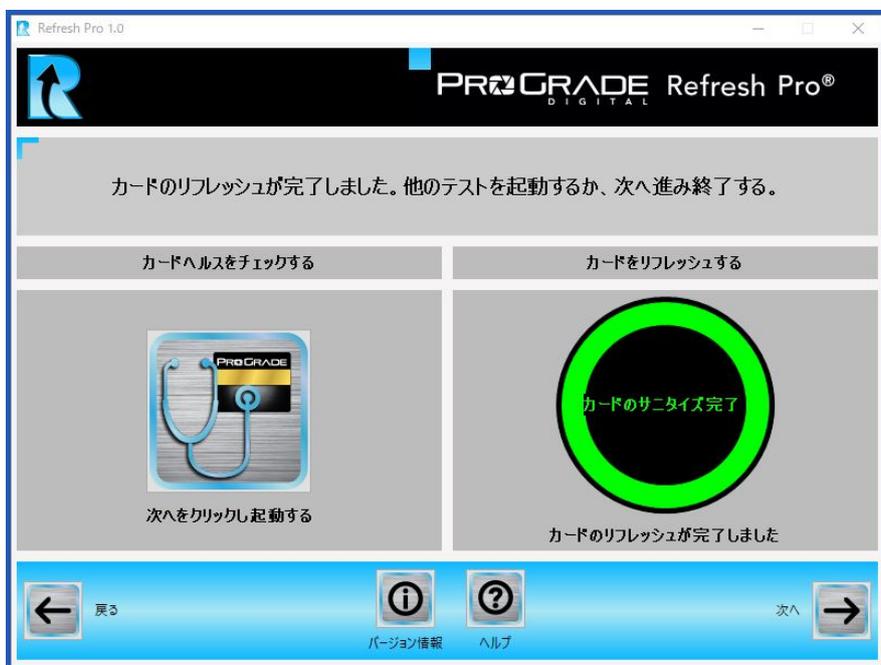
「次へ」をクリックすると、下の注意がポップアップされます。一度リフレッシュするとデータは完全に消去されますので、必要なデータは必ずバックアップしてください。「OK」をクリックすると直ちにリフレッシュ作業が始まります。



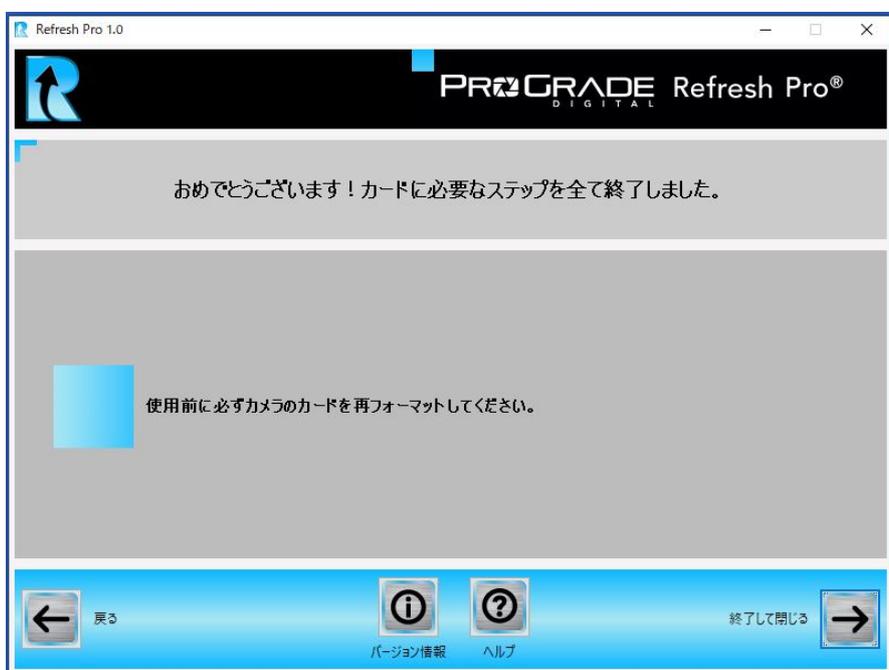
■リフレッシュの完了

リフレッシュが完了すると下の画面になります。

「カードのサニタイズ完了」と表現されていますが、ここでは「サニタイズ」は「リフレッシュ」と同じ意味です。



[次へ]をクリックすると下の画面が表示されます。「戻る」をクリックして、別カードの作業をするか、終了します。



■ご注意：リフレッシュしたカードは必ずパソコンで再をフォーマットしてください。